

対象年度	令和 3年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	公園施設改修事業							予算事業名	公園整備事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	都市公園法			
			08	03	05	2001	政策経費					
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)							事業の区分	主要事業			
	2-1計画的で魅力あるまちづくり(都市計画)								重点事業			
	②公園・緑地の整備							担当課係等	都市計画課			
3公園・緑地の整備							住宅公園係					
事業期間	継続 (平成28年度～令和 4年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
公園施設及び遊具の老朽化を常に点検し維持管理することにより、市民に安全・安心な空間を提供するとともに、利用者の愛着のわくような公園整備に努める。							安全・安心な憩いの場としての公園を提供するため、施設の老朽化及び機能低下した危険な施設を改善する。					
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】					
都市計画課が管理する公園83箇所について ・実施設計委託に基づく改修工事 ・点検結果に基づき修理・撤去・改善等を行う ・水辺公園護岸工事							老朽化により魅力の低くなった、また危険な公園施設					
							【事業をとりまく環境の変化】					
							「公園施設の安全強化について」通達があり、安全管理を徹底した公園整備及び維持管理運営が求められる					
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				
鹿窪児童公園フェンス及び土留め工事 都市公園長寿命化計画(個別施設)				川木谷緑道園路改修工事				都市公園長寿命化計画に基づく改修工事 ※優先順位をつけ行うため事業費未定				

■ 事業費

		R01年度	R02年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	4,752	3,837			
歳入計(千円)		4,752	3,837			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	14 工事請負費	4,752	3,837			
歳出計(千円)(A)		4,752	3,837			
伸び率(%)			-19.25			
備考	総合計画 72 ページ 予算書 ページ					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	公園施設点検調査	箇所	目標	83.00	84.00	84.00
			実績	83.00	0.00	0.00
	公園整備数(残り計画箇所)	箇所	目標	5.00	5.00	5.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	公園施設改修工事箇所 単年度	%	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民の憩いの場として、安全・快適に公園を利用できるようにするため、市が施設の改修・改善する必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	市が管理する公園であり公園の改修工事・新規公園整備は公共で整備しなくてはならないが、今後は地区と一体となった管理が必要となり、日常点検等は地区の人が観察し、市が改修するといった連携が必要である。
	手段の妥当性	A 妥当である	実施設計書に基づく公園改修工事、及び点検委託の結果に基づく老朽化した施設を対象にしているため妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	軽微な補修については直営にて行う等の管理方法を実施している。また、必要最小限の人員で管理を行っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	誰もが利用する公園を対象としており、公平性が保たれている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	老朽化した公園施設を改修・撤去することにより安全性を高めることができる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	公園の安全・安心な利用を目的としているため、事故等が起きないようにすることが目標であるため。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

公園施設の安全管理の強化は、年々厳しくなっている。安全・安心な憩いの場として公園を提供するため、施設点検により指摘された老朽化・機能低下した施設については早急に対応を行っているが、予算が厳しい中での対応となっているのが現状である。撤去後に新たな施設を導入できないなど、市民のニーズに対応しきれない状況である。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

点検調査結果をもとに、優先順位を決めて、年度ごとに計画的に進めていく。
老朽化した施設などについては、廃止・撤去を検討していく必要がある。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

方向性の具体的内容

公園施設の安全確保は重要であることから、定期点検・日常点検は不可欠であり、継続的に実施する必要がある。
点検調査の結果をもとに修理・撤去等を判断し、経費節減に努めながら迅速な対応による安全な施設の提供に努める。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。